

第2回強化委員会

期 日 平成31年2月23日(土)

時 間 14:00~15:30

場 所 栗田支援学校 小会議室

●磯崎理事長の挨拶

今年度も、残すところあと一か月となりました。スタッフの皆さんには、強化チームのために時間と労力を使っただき、ありがたく思っています。あらためてお礼申し上げます。今年度の大会では、あと一歩、もう一息という悔しい思いがあったと思います。来年こそは優勝するぞ、という強い気持ちがスタッフや選手に感じられました。特体連も、チームが強くなるために支援していきたいと思っております。



●強化チーム年間活動報告

○各チームの年間活動について、それぞれの監督から次のような報告がありました。

○サッカー石川監督

- ・ブロック予選会は、岩手県にPK戦で敗れ、3位決定戦では福島県に4対6で負けて4位になった。
- ・東北連盟のリーグ戦では3勝1敗であったが、仙台市に1点差で優勝を奪われFID全国大会への出場を逃してしまった。その悔しさをバネにして真剣に練習に取り組んでいる。
- ・東北、全国連盟のトレセンに参加している選手が中心になってレベルの高い練習を進めているので、来年はもっと上位の成績をめざす。



○男子バスケットボール北林監督

- ・今年のブロック大会では、決勝で札幌市に負けてしまい、連覇が途切れた。
- ・8月のFIDバスケットボール大会や11月のひまわりカップバスケットボール大会への参加を通し、悔しさをバネにして力をつけてきている。
- ・冬期間の練習会での練習日程の見直しや、現役選手の発掘などとおしてレベルアップを図っていく。



○女子バスケットボール今井監督

- ・今年度はブロック大会で優勝し、全国大会では準優勝であった。
- ・チームトレーナーに同行していただき身体面や精神面でサポートしてもらい、効果的であった。
- ・FIDバスケットボール大会では昨年度と同じ成績であったが、上位チームとの力の差を感じた。実力の差を埋めるために若い選手層の充実や、練習の質を高め練習回数を増やすことを考えている。
- ・今年度の練習については、一年間をとおして練習への意欲が向上し、出席者が多くなってきた。



●合宿並びに視察報告(サッカー)

○「ナショナルトレセン」と「もうひとつの高校選手権」について石川監督から以下の報告がありました。

- ・1月26日(土)27日(日)大阪体育大学を会場として開催された。
- ・初日は全員で、二日目はカテゴリーに分かれてトレーニングをした。
- ・関東方面のチームのレベルの高さを感じたが、技術指導だけでなく、社会人としての成長もねらっているところが印象に残った。
- ・「もうひとつの高校選手権」は、今年で4回目の開催であった。
- ・東北選抜チームよりも実力の高いチームもあり、日本代表選手が所属している「東京都立志村学園」が優勝した。
- ・地元の高校の生徒が大会を手伝い、地域全体で大会を盛り上げていた。



●諸連絡

○事務局から次のことについて連絡がありました。

- ・強化選手の状況
解除選手4名、新規登録の選手3名。(2019年3月31日現在)
- ・2019年度強化事業について
派遣事業=公式試合(ブロック予選会他7回)遠征・強化合宿(トレセン他5回)
- ・強化チームユニフォーム購入について
①女子バスケット②男子バスケット③サッカーの順に購入する計画。
- ・強化チームで加入している保険について
スポーツ安全保険と所得補償保険(ケガ等で仕事を休まなければならない場合の所得を補償する保険、社会人選手向け)。

